

(6) 名古屋鉄道岐阜市内線

都市名	岐阜市	交通機関	トラム(LRT)	走行空間タイプ	車道
概要 (計画段階)	<p><b>【軌道】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋鉄道の旧美濃町線、旧美濃町線、旧岐阜市内線の3線を復活再生する方向で計画</li> <li>・当初は旧岐阜市内線の一部(岐阜駅前ー徹明町)と旧美濃町線の復活再生から進めていく予定</li> <li>・軌道敷の扱い：原則として進入不可(名古屋鉄道時代は原則として進入可)</li> <li>・軌道敷(併用区間)における自動車の交通往来の多い箇所：4カ所を特定。地元の皆様とともに、車線進入および信号処理による共存環境づくりを図る。</li> </ul> <p><b>【停車場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅数の増設：旧美濃町線ルート(岐阜駅前ー徹明町ー関)の場合、駅数(電停も含む)を名古屋鉄道時代の22駅から23駅増やす計画</li> <li>・安全島の設置：地区の皆様と協議の上、設置実現を図る(名古屋鉄道時代は実現できず)。</li> <li>・バスや自家用車などとの乗り継ぎ：本鉄道を基幹的交通としての機能を充実し、拠点駅でのバス・車などとの乗り継ぎなど、連携をすすめていく。</li> </ul> <div data-bbox="667 1160 1235 1435" style="text-align: center;"> </div>				
合意形成について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名鉄岐阜市内線など3線が2005年3月に廃止されるに至り、それに先立つ2月に同線等の廃止は死活問題だとして、地元経済人が中心となった枠組みにより民間出資による同3線の基盤を生かした事業再生に向けて可能性を模索した。</li> <li>・2005年9月に事務所を設立(現在は閉鎖)して調査活動を始め、10月には第1回関係者会議、2006年3月(年度末)には軌道事業特許申請を行い、代表人自らがトップとなる事業体立ち上げを目指した。</li> <li>・各方面との折衝を重ね、事業構想を取り巻く環境条件に対する改善を重ねるも、障壁の完全な除去には行政主導の必要のある案件が浮かび上がり、それらの合意に更なる時間がかかることが予想され、同年10月に受理(中部運輸局)側の説得もあり、総合的に判断して軌道事業特許申請を一旦とり下げた。</li> </ul>				

	・なお、新鉄道準備室の動きが波及的に生み出したものは地域の今後にとって重要なものも含まれると考えており、その点の精査については専門家との間で引き続き行っている。
出典	岐阜地区新鉄道設立準備室 <a href="http://gifu-newrail.com/">http://gifu-newrail.com/</a>